



WEEKLY REPORT

高山中央ロータリークラブ

2023～2024 年度 高山中央 RC 会長テーマ

親睦～例会に出席しよう～



世界に希望を生み出そう

◆会長 岩本 正樹 ◆幹事 長瀬 栄二郎 ◆会報委員長 井ノ下 雄志 ◆会報担当 益田 大輔

創立 1991 年 5 月 20 日

<出席報告>

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

	会員数	出席会員	出席数	Make-up	出席率
本日 1356 回	54 名	54 名	44 名	—	81.48%
前々回 1354 回	54 名	54 名	44 名	2 名	85.19%

- 点 鐘 会長 岩本 正樹
- ロータリーソング 奉仕の理想
- 高山中央ロータリークラブ職業倫理基準
- ビジターおよびゲストの紹介
- 会長の時間 会長 岩本 正樹

皆さんこんにちは、先週は山王祭でお休みでしたので、2週間ぶりの例会でございます。最近は気候も良くなり過ごしやすい季節になって参りましたが、皆さん如何お過ごしでしたでしょうか。私は生まれて初めての経験ですが、4月に入ってから花粉か黄砂か知りませんが喉の痛みやら、鼻水やら、咳が大変で、外へ出掛けると症状が酷くて辛い思いをしております。花粉症くらいとバカにしておりましたが、結構大変なものだという事を思い知らされております。



さて、4月13日の土曜日には、地区研修協議会が津市の総合文化センターで開かれました。堀口会長エレクトをはじめ地区協に出席して頂いた総勢11名の皆さん大変お疲れ様でございました。いよいよ新しい年度が動き始めたという事でございますが、協議会では亀井喜久雄次年度ガバナーのテーマや活動方針、執行部の体制など学び取られてみえた事と思います。本日の担当であります岩垣津委員長の出席プログラム委員会にて地区研修協議会の報告をして頂く事になっております。指名されておられる方はどうぞよろしくお願い致します。

ここでご報告でございますが、少し前になりますが4月6日の土曜日に高山カントリークラブにおきまして、今井ゴルフ部長の呼びかけのもと高山中央ロータリークラブのゴルフを楽しむ会を開催致しました。他のクラブではゴルフ部が結構盛

んに活動されてみえて、ゴルフの上達だけではなくて会員同士の親睦にも繋がっていると聞いております。先日の会で我がクラブでもこれからゴルフ部の活動を積極的にしていこうという事になりましたので、今井ゴルフ部長が計画して案内を出された折にはゴルフをされる方は是非参加をお願い致します。因みに次回は5月20日の新緑例会の日でございます。ご案内がいていると思いますので、皆様ふるってご参加をお願い申し上げます。

あと一つ報告させていただきますが、先週16日の木曜日に今年度2回目のIDMを開催いたしました。今回は入会5年未満の方を対象に呼びかけましたところ7名の方に参加を頂き、清水研修リーダーをはじめ7名の先輩方にご足労願ひまして、総勢14名で山陣にて会食形式で行いました。入会5年未満の方々には家族の事や自分のプライベートな事情、ロータリーに入ってから感じた事などを一人一人に話して頂き、それに先輩方が答える形で酒を交えて和気あいあいと会員の相互理解が深められたIDMとなりました。そんな中で、剣田さんが「ロータリーは寛容さが大事や」と述べられていた事が大変印象に残ったIDMでございました。

話を代えさせていただきますが、本日は私の年度のテーマであります「親睦」について少しお話をさせていただきます。この間14日の祭りの日ですが、急遽事務局で1杯やらんかという話になりまして、久々野さんをはじめ高原清人さん、小出さん、中屋さん、そして事務局の河上さんと私というメンバーで、それぞれに酒やつまみを持ち込んで、昼の1時頃から良く晴れて桜も満開な絶好のお祭り日和で、お祭りのあの何とも言えない良い雰囲気を楽しみながら、楽しいひと時を過ごさせて頂きました。ロータリアン同士の会だけあってお酒が進むにつれて、話題はロータリークラブの話になってきまして、親子ほどの年の差がある中で、若い人は若い人なりの年配者は年配者なりの考えを、酒

の力を借りての部分もありますが正直にぶつけ合い、少人数の飲み会ならではの有意義な意見交換をする事が出来ました。篠原ガバナーの年初の言葉にロータリーは『親睦・学び・成長・奉仕』と語られておられますが、まさにこのような小単位の親睦会でもよいので年の差などのギャップを気にすることなくお互いの相互理解を深め意見をぶつけ合い学んでいく事がロータリアンとしての成長に繋がっていき、やがてロータリーの目標である質の高い社会奉仕が出来るのだろうと感じた次第でありました。なんて体裁の良いことを語ってしまいましたが、案の定事務局での呑み会もすぐに夕方になってしまいましたので朝日町方面に場所を変えて、店を2,3件はしごしまして、夜中の12時まで延々に半日近くとことん呑んでしまい、私なんか最後は全く記憶がありませんでした。自分も含めてですが、皆さん本当によく飲めることであります。結局酒好きな人達、または色んな遊び好きな人達にとりましてはロータリークラブというのは、言い方は少しご弊があるかもしれませんが、その楽しみを実行するためのツールでしか無いと思うのであります。私なんかを考えますにその事をあまり良くない考えだと思わずに、とにかく先ずみんなで色々楽しむ事が大事だと思うのであります。そしてその親睦の輪の中から副産物としてロータリーの奉仕活動が成就するくらいの姿勢の方が、うまくロータリー活動も機能して活気あふれるクラブに出来ると思うのですが少し言い過ぎでしょうか。今日は今年度のテーマであります「親睦」に因みましてお話をさせて頂きました。

最後になりますが、来週再来週とゴールデンウィークに付き例会はまたお休みとなり、次回お会いできるのは5月13日になります。皆様、お酒など飲みすぎませぬ様、お体をご自愛なされてお過ごしいただきます様お願い申し上げます。本日の会長の時間とさせて頂きます。ありがとうございました。

● 幹事報告 次期幹事代理 熊崎 元康

◎国際ロータリー第 2630 地区ガバナー事務所より

・台湾東部地震支援金のご協力をお願い

・次期会員増強ラーニングセミナー開催のお知らせ

日時：5月11日（土）

10：30～14：50

会場：岐阜グランドホテル

登録料：5,000円

出席要請者：次期会長・次期幹事・次期会員増強委員長・3年未満の新会員

・女性会員



- ・インターアクト教師部会開催のご案内
日時：5月12日（日）14：00～17：00
会場：大垣フォーラムホテル
登録料：1,000円
出席要請者：次期会長・次期IA委員長
- ・クラブ増強報告書 3月分
- ・GW休暇について
5月1日（水）～5月6日（月）

◎国際ロータリー第2630地区ガバナーエレクト事務所より

- ・GW休暇について
5月1日（水）～5月6日（月）

◎濃飛グループ次期ガバナー補佐より

- ・濃飛グループ次期会長幹事懇談会開催のご案内
日時：5月25日（土）11：30～15：00
会場：洲さき
登録料：10,000円

○ロータリー米山記念奨学会より

- ・ハイライトよねやま 289

○岐阜東南ロータリークラブより

- ・第47回インターアクト年次大会開催のご案内
日時：8月6日（火）9：50～16：00
会場：長良川国際会議場

○高山ロータリークラブより

- ・例会変更・休会のお知らせ
5月2日（木）休会 定款により
5月23日（木）⇒25日（土）
長野県松本市 新緑家族例会のため
5月30日（木）休会 定款により

○高山西ロータリークラブより

- ・例会変更・休会のお知らせ
4月26日（金）休会 定款により
5月3日（金）休会 法定休日
5月17日（金）休会 定款により
5月31日（金）15：00～
関市小瀬 新緑例会のため

<会報>

- ・下呂RC
- ・高山RC

●出席/プログラム委員会

委員長 岩垣津 亘

本日のプログラムは、4月13日に行われました「地区研修協議会」の報告をいただきました。

独断と偏見で1番西さん、2番村井さん、3番高原清人さん、4番中田学さん、5番下田さん、6番まとめて大保木さんよろしく願います。



<地区研修協議会報告>

地区協議会で参加した分科会で学んだこと
西 美紀

まず、公共イメージ委員会の取り組みについてですが、クラブへの取材訪問を行っている。これにより、他クラブのユニークな活動を知る例えば三重県で行っている野球のガバナ杯がある事を知りました。そして、訪問時に四つのテスト アンケートを実施し、これにより、毎例会唱和、第一例会、ソングとして歌っている、掲示の仕方などの違いなど、クラブによって、違いがある事がわかりました。



そして、取材訪問レポートを地区ホームページ及びFacebookグループに掲示して、例会の運営方法、雰囲気など驚きや感想をレポートしています。また、ロータリークラブの認知度調査も行いました。公共イメージ向上のためには、情報発信が重要で、SNS利用、ホームページで発信する場合も一般の方が見て理解できるページを作る、またマスコミの利用においては、ニュース性、社会性が重要です。ユーチューブの活用も有益な情報発信ツールという事でした。

次に会員基盤強化、会員増強委員会については、テーマを「会員満足と会員維持」決めました。ロータリーの会員状況ですが、世界の会員数は120万人、+ローターアクト20万人で、2630地区の会員数は3138人（うち女性207名）です。地区の世代別会員数の推移をみると10年後80歳以上の会員が896名、20年後は1619名で会員数の半分以上が80歳以上となることを踏まえ、会員の増強が必要です。会員増強のひとつの取り組みとしてロータリー賞の目標に取り組み。

ロータリー賞の目標に向けた取り組みは、クラブで会員の参加を促し、地域社会におけるクラブの存在意義を保ち、効率的に運営するための一助となります。人々を温かく迎え、その傘下を促すクラブは、ロータリーの価値観を反映したクラブであると言えます。

ロータリー賞には26の目標があり、半分の13以上の目標を達成することで表彰を受けられる。目標に向かいクラブが一丸となることで、参加意識

が高まり、;クラブが活性化します。地域社会への公共イメージも上がり、結果会員の増強に繋がります。同時に地区のテーマ 会員満足と会員維持、参加したくなる魅力ある例会運営、各種親睦活動、対面での声掛け運動を例会に、など、クラブの会員満足度を高め、すべての会員が居心地の良いクラブ（会員維持）につながります。

DEI 小委員会では、Diversity、多様性（多様なバックグラウンドの会員構成）、Equity、公平さ（平等とはちがう）Inclusion 包含 包括性（迎え入れて、仲間にする）これらを実現する結果、多様な会員のだれもが 受け入れられていると感じるクラブ、満足できる、居心地のいいクラブ、自分らしく参加できるクラブにつながります。インクルーシブなクラブ（DEIの実現）には、若年層の方、外国籍の方、女性の方、ジェンダーの方、いままでのロータリーのイメージになかった方のお入会をお考え下さい。今クラブの会員のお一人お一人を思いやり、認め、尊重してください奉仕の心と実行力のある人は誰でもロータリーに属しています。DEIは皆様の心にあります。という事でした。

次に、新クラブ推進小委員会では、新クラブを創設するには、衛生クラブを活用すると設立のハードルが下がります。通常のクラブでは、設立メンバーが20人のところ、8人で設立できます。本クラブ（スポンサークラブ）の内部クラブとして設立することができます。また、新しいタイプのクラブの創設 ・Eクラブ、パスポートクラブ、様々な形態のクラブが誕生しています。まずは、新クラブ推進小委員会にご相談ください。という事でした。以上で発表を終わります。

“2024 地区研修協議会・津大会に参加させて頂きました”

村井 繁喜

去る4月13日に地区研修協議会の新会員研修ということで参加させて頂きました。次期会長の堀口裕之さんや次期幹事長代理の熊崎元康さんには大変お世話になり、万全のサポートのもと12名で行って参りました。ありがとうございました。



朝8時に高山を出発しましたが往復の交通はバスでしたが、大型バスのため一人で席が4席くらい使えるようなゆったりとした旅でした。

13時からの開会セッションと第一セッションは次期ガバナ予定者の名張ロータリークラブの亀井喜久雄氏がお話をされ次年度の地域方針を“地域にインパクトを”ということで発表がありましたが、飲み込みの悪い私にはイマイチ良く内容がわかりませんでした。

しかしながらとても熱く語られましたので来年の活動もとても中身のあるものになることは容易に想像がついた次第です。

第二セッションは分科会となり、新会員の分科会に参加させて頂きました。

ファシリテーターにはパストガバナーで伊勢中央ロータリークラブの浦田幸一氏のお話を聞きました。1905年にシカゴでロータリーが立ち上がったからの歴史をお聞きしましたが、聞いた事のない話もあり大変勉強になりました。

人物名ではポールハリス、ドナルドカーター、クレディックシュルトンの3名の名前が記憶に残りましたし、講義内容では相互扶助と親睦とというキーワードと職業奉仕と社会奉仕というキーワードが記憶に残りました。

新会員でしたので一応まじめにお話は聞いてきたつもりですが足りないところはまた教えて頂きたいと思います。

ありがとうございました。

地区研修・協議会に参加報告

高原 清人

私は第2セッション、米山記念奨学委員会分科会に参加して学んだことを述べます。

冒頭長谷川委員長より、「米山記念奨学についての研修会に今まで参加されたことのない方は挙手してください」と言われ、恥ずかしながら私は恐る恐る挙手をいたしました。ところが驚いたことに50名弱の参加者で8~9割が挙手していました。これには長谷川委員長も絶句して見えました。それほど米山記念奨学委員会とはなじみが薄いものなのかと思った次第です。

というように一々私の主観を取り入れてお話しすると、時間も無くなりますので、ここ数年は新会員さんも大勢入会していただきましたので、この研修会で習ったことをお伝えいたします。

始めに「米山記念奨学事業の概要」ですが1.日本のロータリー独自の事業であること（日本全国34地区の合同事業）2.日本で学ぶ外国人留学生の支援事業（公益財団法人を設立し運営）3.世話クラブ・カウンセラー制度で交流を重視している。次に「奨学事業の目的」であります。

「奨学事業の目的」であります。勉学または研究のために来日し、我が国の大学等教育機関に在籍する外国人に対して奨学金を支給し、よってロータリーの理想とする国際理解と親善と平和に寄与することを目的としています。

次に「奨学事業の使命」ですが、将来、日本と世界とを結ぶ「架け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動のよき理解者となる人材を育成することです。次に「奨学金の目的」ですが、この米山奨学事業は私たちの寄付のみで行われております。寄付が多ければより大勢の留学生



を支援できるということです。当初は教育目的の奨学金でしたが、現在は人的投資目的の奨学金となりつつあるようです。因みに今年度まで131か国、23,509人の留学生に奨学金を支給してきました。以前は苦学生対象でしたが現在は優秀な学生が対象となっております。

これも因みになんですが、第2630地区寄付金は約3,000万円で一人当たりが9,647円となり34地区中31番目となっております。

最後に本年度の(2024.4~2025.4)米山奨学生は全国で約889名です。この地区では18名(継続3名)であり、岐阜9名、三重9名、となり出身国は中国7名、ベトナム4名、ミャンマー3名、ネパール1名、インドネシア2名、マレーシア1名となっております。

以上ご報告申し上げます。

地区研修・協議会参加報告

中田 学

私は、次年度、会計ということで、参加させていただきました。

第2セッションでは、各分科会に分かれて、私は、「戦略計画、研修情報・職業奉仕合同分科会」に参加しました。



3人の方々からお話があり、まずは、高橋直前ガバナーから、「戦略計画と必要性」について、お話をいただきました。

国際ロータリーの歴史に触れられ、そもそも、国際ロータリーという組織は、当時アメリカにあった16のクラブが、ロータリーの奉仕の理念を守り育て、全世界へ普及するというのを、自分たちのクラブでは出来ないで、お金、今の人頭分担当だそうですが、活動資金を負担し、委託してやってもらうために作ったもので、これははっきりと明記されているそうです。

しかし、今では、当初から大きく様変わりしてしまっていて、国際ロータリーの会長は一年で交代しますが、ジョン・ヒューコ氏は、事務総長からCEOとして15年務めていて、今では、彼が中心となって、事務方で、ほぼほぼ多くの意思決定がなされて、半ば強制的な上意下達の指導体制が確立しているそうです。

このような状況を、すぐに元に戻すことはできませんが、ロータリーには「クラブの自治権」というものが決議されていて、国際ロータリーは、どんなクラブのどんな社会奉仕活動も絶対禁じるべきではないし、ロータリーの主役はあくまでも各地域のロータリークラブであって、自分たちが自分たちの手で、特色や個性を打ち出したクラブ運営

を目指さなければならないということだそうで、やはり私たちは、ここ高山で、高山のために、自分たちの手で、しっかりとクラブ運営をやっていかなければならないと、あらためて思いました。

2人目は、地区研修・学習委員会 岩田委員長からは、ロータリーを嫌いになって辞めていくメンバーを減らすために、親睦に加えて学びの場を提供していきたいし、クラブでも取り組んでいただきたいとのことでした。岩田委員長は、第二次劔田ガバナー時のガバナー補佐さんだったので、良く存じ上げていますが、委員長お得意のだけじゃれが、スベリまくって、とってもヤバかったです。

3人目は、職業奉仕委員会 菅内(スガウチ)委員長から、「ロータリーの理念と職業奉仕」についてお話しいただきました。色々話されたのですが、4つのテストを実践することが重要とのことでした。

帰りのバスでは、発車と共に、缶ビール栓を開ける「プシュー」という音が響きわたり、まあ、始まりまして、高山に着いてからは、「おりじん」で反省会が用意されていて、皆さん、大いに盛り上がり、大いに反省をさせていただいた楽しい夜でした。

堀口エレクトが、ご挨拶で、「会議もセミナーも大切ですが、何よりも、事業に参加して、その道中での会話、バスの中での一杯や、着いてからの反省会が、一番大切な親睦の機会で、これが高山中央らしさです。」と話されたことをあらためて実感した一日でした。

地区研修協議会報告

下田 徳彦

次期会員増強委員長として、地区研修・協議会に参加させて頂きました。

全体セッションでは RI 会長の方針をガバナーエレクトが要約し、重点的な個所を分かりやすく説明して頂きました。ガバナーエレクトのお話の中で、今は変化と多様性を受け入れる事が求められている事を感じました。「伝統は改革により守られる」の言葉が印象的でした。

全体セッションの後は委員会単位で各会場に分かれての分科会でした。セミナー会場は会員増強以外に公共イメージ委員会、DEI、新クラブ推進の小委員会の 4 つの委員会のそれぞれの委員長が順番に方針を発表される形で開催されました。それぞれの委員会の活動は違いますが、会員増強という点では目的が共通しており、それぞれのセミナーがとても勉強になりました。



なぜ会員増強が必要なのか？会員数で奉仕の数が増やす事ができるから。そして RC の理念を行動に移すためには会員数が必要であるから。

会員増強活動を実施する上で、ロータリー賞受賞を目指すことが重要であり、当クラブ(高山中央ロータリー)は忠実にそれをやっている事は、客観的に見ても手本となる活動になっていると感じました。

当日の感想は、食事会場、全体セッション会場が会員で満席状態でしたので、窮屈な感じでしたが、空席が目立つ会場よりは一体感がありました。

地区研修協議会参加報告

大保木 正博

第2セッション(ロータリー財団・奉仕プロジェクト合同分科会)

初めての試みとして、今年度はロータリー財団部門と奉仕プロジェクト部門が合同で開催されました。奉仕プロジェクトの実施には資金が必要であり、ロータリー財団の資金を奉仕プロジェクトに効果的に利用していくためとのことでした。

世界社会奉仕(WCS)補助金の名称が昨年奉仕プロジェクト補助金(DCS)に変更されましたが、これは世界に奉仕することはもちろん大切ですが、地域に奉仕することも同じように重要であり補助金を有効活用して活動の対象や目的を集中させ一つでも多くの成功事例を作り上げてほしいという考えの具現化です。そのため補助金をより多くのクラブに活用してもらえるように工夫していくとのことでした。

自分たちの地域にロータリーの補助金を使って奉仕していくことは、成果が目に見え大変わかりやすいとともに、より達成感が強いよい方法だと思いました。

奉仕プロジェクトは、「社会奉仕委員会」、「青少年奉仕委員会」、「国際奉仕委員会」の三つの委員会が一つになって行う計画です。

久々の地区研修協議会参加でしたが、活動計画が変わってきているのを感じながら、目指すところとそのため活動のロードマップが明確化されてきており大変良いことだと感じました。



<ニコニコ BOX>

春の高山祭りが、二日間晴天に恵まれ無事開催できたことを嬉しく思いニコニコへ。

下田 徳彦

先週土曜日に初孫が産まれました。おじいちゃんになった実感がまだないですが、今迄みたいフラフラ・フワフワしてたらあかんな～って思います。自分を見つめ直します。

嬉しかったのでニコニコへ。 高原 龍士

本日早退させていただきます。理事会も休ませて頂きますので少し多めにニコニコへ。

すいません。 小出 貴博

先週の土曜日に岐阜県薬剤師会の監査を無事済ませ、14年間に渡る岐阜県薬剤師会の執行部の仕事の一つけりが付きました。忙しい時は毎週末、岐阜で過ごしたこともあり気分的には楽になりました。

伊藤 正隆

昨日の「はぐるま会」で、久々に優勝させて頂きましたので。

三枝 祥一

昨日の「はぐるま会」で、珍しく有難くニアピンを頂きましたので。

都竹 太志